

令和5年度おかやま協働のまちづくり賞応募募用紙

令和5年6月1日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 千種学区防災会
氏名 会長 伊永高明

令和5年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ「災害に強いまちづくり」

取組の名称	誰もが安心して住み続けることができるまちづくり
取組の概要	<ol style="list-style-type: none">1 災害時避難行動要支援者個別避難計画 平成30年の西日本豪雨を教訓として、災害が発生した時に、自ら判断できない人、避難できない人を対象として個別避難計画を作成しています。 個別避難計画の策定にあたっては、岡山市危機管理室、保健福祉企画総務課、東区保健センター、地域包括支援センター、特別養護老人ホームなどと連携しながら、個別避難計画を作成しました。2 災害時避難行動要支援者避難訓練 避難行動要支援者が安心して避難ができるよう、実際に避難訓練に参加してもらい、福祉避難所などへの避難を体験してもらいました。3 避難所運営リーダー養成 避難所では、多くの避難者が避難生活を送ることになりますが、避難所を運営するリーダーを地域が養成していくことで、避難者が安心して避難ができる体制を作っています。4 相互応援協定 災害が発生した時には、単位町内会の防災会だけでは対応が困難になります。千種学区内のすべての町内会が相互に応援ができるよう応援協定を締結しています。5 防災訓練の実施 災害に強いまちづくりを目指して、平成26年から総合防災訓練、避難訓練を交互に実施し、住民の防災意識の高揚を図っています。6 オレンジカード（家族全員無事カード）の導入 災害が発生した時に、家族が避難したことを知らせるオレンジカードを玄関先に掲げることで、地域の防災会の避難誘導班の誘導が素早くできることとなります。

	<p>7 防災士の育成と連携</p> <p>岡山市が推進している防災士の育成と連携して、防災士を育成し、地域における防災の取り組みへの参加を進めています。</p>
<p>成果・効果</p>	<p>1 平成30年西日本豪雨の対応</p> <p>平成30年西日本豪雨の際には吉井川が増水し、千種学区内の多くの地域で浸水被害が発生し、万富公民館へ30世帯84人の方が避難を余儀なくされました。</p> <p>万富公民館以外にも、それぞれの単位町内会の防災会がコミュニティハウスを避難所として開設し、住民を避難させることができました。</p> <p>これは、平成26年から防災訓練、避難訓練を実施してきたことから、それぞれの町内会の防災会が素早い避難を呼びかけ、一人の犠牲者も出すことが無く、避難ができた成果だと思えます。</p> <p>2 災害時避難行動要支援者避難訓練</p> <p>災害時避難行動要支援者避難訓練は、参加した要支援者はもちろん、要支援者の避難補助をする近隣協力者、防災会メンバーが貴重な体験をすることができました。</p> <p>参加した要支援者の方の言葉は、安心した、訓練に参加してよかったとの回答が大半でした。</p> <p>3 オレンジカード（家族全員無事カード）の導入</p> <p>オレンジカードには、千種学区内の避難所が明記され、いざという時の避難に役立っています。</p> <p>4 防災士を育成することで、防災会の一員として避難訓練や実際の災害が発生した時に率先して対応できる人材の育成が進んでいます。</p>

【様式1】 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	誰もが安心して住み続けることができるまちづくり
テーマとの関連	<p>千種学区内の単位町内会の各防災会は、岡山市と合併する前の瀬戸町時代に、神戸大震災を契機として防災会を立ち上げました。しかし、その活動は低調で多くの防災会は、休眠状態のまま経過していました。</p> <p>平成19年岡山市と合併、平成24年に千種学区連合町内会が発足したのを契機に、学区全体で防災訓練に取り組むことになりました。</p> <p>そして、平成26年から災害に強いまちづくりを目指して総合防災訓練や避難訓練を実施してきました。</p> <p>そして、平成30年の西日本豪雨での教訓を生かし、災害時避難行動要支援者個別避難計画の策定を行いました。</p> <p>その他、避難所運営リーダーの養成や、防災士の養成を行って、人材育成にも積極的に取り組んでいます。</p> <p>この地域に暮らしている人々が安心して生活ができる地域を目指して活動を進めています。</p>
取組の目的・目標	<p>災害は、必ず私たちを襲ってきます。その時、何の備えをしないまま個人で動いていると、その犠牲となるのは自分で災害を知ることができない人、自分で避難をすることができない人々が犠牲になります。</p> <p>災害時避難行動要支援者の避難計画を策定し、それに基づいて避難訓練を実施し、一人の逃げ遅れを生まない地域を目指して活動を展開していきます。そして、今後も避難所運営リーダーの養成や防災士の養成を積極的に推進していきます。</p> <p>また、今までの避難訓練ではあまり参加が少なかった若年層の参加を促すため、防災ウォーキングなどでもっと気軽に避難訓練に参加できるよう工夫をこらし、千種学区に住んでいるすべての人々が安心して暮らすことができるよう様々な活動を展開していきます。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 千種学区防災会の結成 2 総合防災訓練、避難訓練の開催 3 オレンジカード（家族全員無事カード）の配布 4 相互応援協定の締結 5 災害時避難行動要支援者個別避難計画の策定 6 災害時避難行動要支援者避難訓練の実施 7 避難所運営リーダー研修の実施 8 防災ウォーキングの開催 9 千種学区災害対策本部の設置

取組の実施期間 今後の活動展開 など	千種学区防災会 平成29年5月26日～	<input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 終了 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 終了予定
	今後の活動展開 1 災害時避難行動要支援者個別避難計画の推進 2 災害時避難行動要支援者避難訓練の実施 3 避難所運営リーダーの養成 4 千種学区災害対策本部の運用 5 防災士の養成と連携 6 防災ウォーキングの開催	
協働による 効果	<p>災害時避難行動要支援者の個別避難計画を作成するにあたり、岡山市危機管理室、保健福祉企画総務課、東区保健センター、地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、ケアマネージャー、民生委員など多くの機関、団体の皆さんに協力をいただきようやく作成することができました。</p> <p>防災会だけで要配慮者の避難計画を作成することは不可能なことになります。多くの皆さんの協力をいただきながら、ようやく災害時避難行動要支援者個別避難計画を作成することができました。これは、実際に災害が起こった時の対応にも役立つ連携であったと痛感しています。</p> <p>多くの機関、団体が協力しながら、自ら災害を認知できない方、自ら避難できない方を何とか避難をさせることができる体制を構築することが、これからの地域づくりに求められていると思います。</p>	
協働団体と その役割	団体名	千種学区防災会
	団体種別	市民団体
	役割	総合調整
	団体名	岡山市危機管理室
	団体種別	行政
	役割	要支援者個別避難計画の作成補助
	団体名	岡山市保健福祉企画総務課
	団体種別	行政
	役割	福祉避難所開設、運営
	団体名	東区保健センター
	団体種別	行政
	役割	避難者の生活相談等

	団体名	特別養護老人ホーム「多聞荘」
	団体種別	福祉施設
	役割	福祉避難所開設と要支援者のケア
	団体名	特別養護老人ホーム「あお鳩の杜」
	団体種別	福祉施設
	役割	福祉避難所開設と要支援者のケア
	団体名	ケアマネージャー
	団体種別	福祉施設
	役割	要配慮者へのアドバイス
	団体名	民生委員
	団体種別	福祉委員
	役割	要配慮者への聞き取り、支援